

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2014年11月25日）

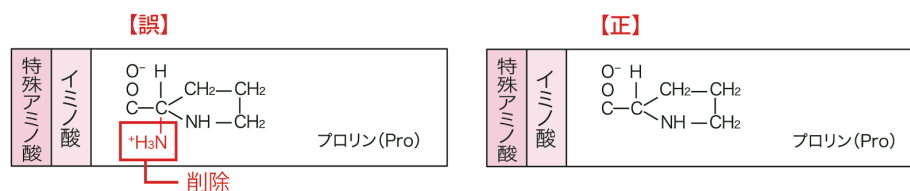
■第2版 第1刷（2011年8月10日発行）の修正箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
19	カラーアトラス 図0の説明		文献1より転載	転載元を追加	14/10/27
第1章 栄養不良とその結果					
29	下から10行目	β ミ リポタンパク	β-リポタンパク		11/09/06
51	表3 1行目	% IBM	% IBW		12/08/07
53	表7 2行目	500 ~1,800 軽度	1,500 ~1,800 軽度		12/05/09
第3章 栄養素とその代謝					
92	図1 右下		「特殊アミノ酸」の「イミノ酸」の「 H₃N を削除	※1参照	13/07/31
96	上から14行目	二重結合が1つの脂肪酸を一価不飽和脂肪酸と、二重結合が...	二重結合が1つの脂肪酸を一価不飽和脂肪酸と、二重結合が...	句点を句読点に変える	11/09/06
99	上から2行目	medium chain fattyacids	medium chain fatty acids	半角のスペースを入れる	11/10/31
115	表II下から5行目 [ビオチン]の項目	[妊婦: +2.授産婦: +5 μg]	[妊婦: +2 μg .授産婦: +5 μg]		11/09/06
第4章 エネルギー投与量の算出方法					
136	表1 [1. 糖質が酸化される場合]	C6H12O6 + 6O2 → 6H2O + 36ATP (657kcal)	C6H12O6 + 6O2 → 6CO2 + 6H2O + 36ATP (657kcal)	「6H2O」の前に「6CO2」を加える	11/10/11
136	表1 [4. ケトン体が酸化される場合]	0.176g(fat) + 0.437LO2 → 1g(ketone) + 0.11L CO2 + 0.129H2O + 2.039kcal	0.176g(fat) + 0.437LO2 → 1g(ketone) + 0.11L CO2 + 0.129H2O + 2.039kcal		11/10/11
138	21行目	250mg/kg/日の窒素量または 1.7mg/kg/時 のタンパク質の投与が「安全」とされている。	250mg/kg/日の窒素量または 1.7g/kg/日 のタンパク質の投与が「安全」とされている。		12/02/03
152	右段上から9行目	thymic leukemia l 抗原	thymic leukemia抗原	lをとる	11/10/31
第6章 経腸栄養法					
186	表2タイトル	栄養材の注入 方 とそれぞれの特徴	栄養材の注入 法 とそれぞれの特徴		11/09/06
187	表3 「商品」の表記	カームソリッド 400cal カームソリッド 300cal PG ソフト EJ 400cal PG ソフト EJ 300cal リカバリーニュートリート 400cal リカバリーニュートリート 300cal エフツーショット 400cal エフツーショット 300cal	カームソリッド 400 カームソリッド 300 PG ソフト EJ 400kcal PG ソフト EJ 300kcal リカバリーニュートリート 400kcal リカバリーニュートリート 300kcal エフツーショット 400kcal エフツーショット 300kcal	※2参照	14/10/27
188	図1タイトル	半固形化栄養材短時間注入 方 のメリット	半固形化栄養材短時間注入 法 のメリット		11/09/06
第7章 経静脈栄養法					
201	図タイトル	図 II	図 I		11/09/06
第8章 各疾患の栄養管理					
253	図2説明文の2行目	ISS: injury severity score(外傷重 傷 度スコア)	ISS: injury severity score(外傷重 症 度スコア)		11/10/31
257	右段上から4行目	KeyWord 2 ,p.264	KeyWord 4 ,p.264		11/09/06
292	図II [平成22年度クローン病内科治療指針]	効果 上 十分 上耐	効果 不 十分 不耐	上→不 に訂正 ※3参照	13/09/24

308	図2 図の説明		文献1より転載	転載元を追加	14/10/27
309	右段下から6行目	(図4)	(図3)		11/09/06
310	図タイトル	図4	図3		11/09/06
第9章 高齢者の栄養管理					
333	右段下から6行目	(Vクレス)	(フイクレス)		11/09/06
334	参考文献 下から1行目	9) 深柄和彦 ほか: 医学のあゆみ, 7月増刊: 39-44, 1996	9) 深柄和彦 ほか: 「別冊 医学のあゆみ ベッドサイド管理シリーズ 創傷・炎症・疼痛管理のてびき」(玉熊正悦/監, 小川道雄/編), pp.39-44, 1996		14/10/27
第10章 食事・調理の科学					
347	右段上から9行目	(VF: videofluorography)	(VF: videofluorography)	uをとる	11/10/31
364	左段1行目見出し スベル	trickener for dysphagia diets	thickener for dysphagia diets		14/11/25
366	表3左から2列目, 下から3行目	700袋	700g袋		11/09/06
366	表3右から1列目, 1行目	介護食甲ソフト寒天	介護食用ソフト寒天		11/09/06
略語一覧					
377	右段下から10項目 目	ISS: injury severity score (外傷重傷度スコア)	ISS: injury severity score (外傷重症度スコア)		11/10/31
377	右段下から4項目 目	LCT: long chain triglyceride	LCT: long chain triglyceride		11/10/31
378	左段上から7項目 目	m-AST: mitochondrial aspartate transaminase	m-AST: mitochondrial aspartate transaminase		11/10/31
378	左段上から9項目 目	MCFA(s): medium chain fatty acids	MCFA(s): medium chain fatty acids	半角のスペースを入れる	11/10/31
378	左段上から10項目 目	MCTs: medium chain triglycerides	MCTs: medium chain triglycerides		11/10/31
378	右段上から4項目 目	ORAC: oxygen radical absorption capacity	ORAC: oxygen radical absorption capacity		11/10/31
378	右段下から11項目 目	PG: peptide glycan	PG: peptidoglycan		11/10/31
379	左段下から3項目 目	SHP-1: SH2-containing protein tyrosine phosphatase-1	SHP-1: SH2-containing protein tyrosine phosphatase-1		11/10/31
379	右段上から12項目 目	TL抗原: thymic leukemia抗原	TL抗原: thymic leukemia抗原	lをとる	11/10/31
379	右段下から4項目 目	VF: videofluorography	VF: videofluorography	uをとる	11/10/31
索引					
380	右段下から20行目	MCFA(s): medium chain fatty acids	MCFA(s): medium chain fatty acids	半角のスペースを入れる	11/10/31
380	右段下から6行目	n-3系脂肪酸とimmunonutrition	n-3系脂肪酸とimmunonutrition		11/09/06
381	左段上から10行目	ORAC (oxygen radical absorption capacity)	ORAC (oxygen radical absorption capacity)		11/10/31
385	中段上から6行目	褥瘡におけるチーム医療・・・334	褥瘡対策におけるチーム医療・・・334		11/09/06
387	中段下から6行目	半消化態栄養剤・・・269	半消化態栄養剤・・・269	色文字を黒文字に	11/09/06
387	右段上から17行目	ビタミンの食事接種基準・・・128	ビタミンの食事摂取基準・・・128		11/09/06
387	右段上から19行目	チアミン分解酵素酸性菌・・・116	削除		11/09/06

図表

※1



※2

表3 ●市販の“いわゆる”半固形化栄養剤の粘度

	商品	メーカー
安全な粘度 短時間注入が	カームソリッド 400	ニュートリー
	カームソリッド 300	ニュートリー
	PGソフトEJ 400kcal	テルモ
	PGソフトEJ 300kcal	テルモ
危険な粘度 短時間注入が	ハイネゼリー	大塚製薬工場
	ハイネゼリー AQUA	大塚製薬工場
	メイバランスソフト Jelly	明治乳業
	リカバリーニュートリート 400kcal	三和化学
	リカバリーニュートリート 300kcal	三和化学
	アキュア VF-5	旭化成ファーマ
	マステル5000 150g	クリニコ
	マステル5000 200g	クリニコ
危険な粘度 短時間注入が	エフツーショット 400kcal	テルモ
	エフツーショット 300kcal	テルモ
	メディエフッシュケア 400kcal	味の素
	メディエフッシュケア 300kcal	味の素
	アキュア VF-1	旭化成ファーマ

※3

活動期の治療（病状や受容性により、栄養療法・薬物療法・あるいは両者の組み合わせを行う）			
軽症～中等症	中等症～重症	重症 (病勢が重篤、高度な合併症を有する場合)	
薬物療法 ・5-ASA製剤：ペンタサ [®] 錠、サラゾピリン [®] 錠（大腸病変） ●受容性があれば栄養療法（経腸栄養療法） ●効果 ^上 十分の場合は中等症～重症に準じる	薬物療法 ・経口ステロイド（プレドニゾロン） ・抗菌薬（メトロニダゾール [*] 、シプロフロキサシンなど [*] ） ●ステロイド減量・離脱が困難な場合：アザチオプリン、6-MP [*] ●ステロイド・栄養療法が無効な場合：インフリキシマブ・アダリムマブ 栄養療法（経腸栄養療法） ・成分栄養剤（エレンタール [®] ） ・消化態栄養剤（ツインライン [®] など） 血球成分除去療法の併用 ・顆粒球吸着（アダカラム [®] ） ●通常治療で効果 ^上 十分・ ^上 耐で大腸病変に起因する症状が残る症例に適應	外科治療の適応を検討した上で以下の内科治療を行う 薬物療法 ・ステロイド経口または静注 ・インフリキシマブ・アダリムマブ（通常治療抵抗例） 栄養療法 ・絶食の上、完全静脈栄養療法 ●合併症が改善すれば経腸栄養療法へ ●通過障害や膿瘍がない場合はインフリキシマブ・アダリムマブを併用してもよい	
寛解維持療法	肛門病変の治療	狭窄の治療	術後の再発予防

不